

公開のセミナー開催へ

山形広告協総会 領彰活動 繼続

山形広告賞贈呈式で、最優秀賞の盾を受け取る日本地下水開発の桂木宣均社長

＝山形市・山形グランドホテル



山形広告協会（会長・寒河江会長）は、2021年度の事業計画を決めた。

寒河江会長は「新型コロナは、広告・マーケティング

山形広告協会（会長・寒河江会長）の総会が5日、山形市の山形グランドホテルで開かれ、広告の最新情報を発信するセミナーの開催など、2021年度の事業計画を

の第一線で活躍している講師に依頼し、引き続き会員以外にも広く参加を呼び掛け公開講座とする。「山形広告賞」の領彰活動も継続。地域活性化に貢献した優れた広告コミュニケーション活動を領彰すると贈賞規定を変更した。新聞、テレビ、ラジオ、ポスターなどのほか、ウェブ動画やアプリも選考の対象とする。

総会に続き、第12回山形

広告賞贈呈式が行われ、最優秀賞に選ばれた日本地下

水開発（山形市）の桂木宣均社長と、優秀賞の県花笠協議会（同）の会長・矢野秀弥山形商工会議所会頭に、寒河江会長が記念の盾などを手渡した。桂木社長は「SDGs（国連の持続可能な開発目標）の大きな課題の一つが地球温暖化対策。今後も、環境対策に少しでも

貢献できる企業として研さんを積んでいく」と謝辞を述べた。矢野会長は「新型コロナで山形花笠まつりの

中止を余儀なくされたが、何とかまつりのにぎわいを味わってほしいと、AR（拡張現実）で踊りの映像を

見られる企画広告を山形新聞に掲載した。来年のまつりにつなげていきたい」と話した。（坂本由美子）